バドミントン部

■ 1952年（昭和27年）公認

部員数 22名

部長
野村　亮
データ科学センター
教授

今年度は怪我人も出るなど万全の体制ではなかったかもしれませんが、関東リーグ戦や全日本学生バドミントン選手権大会等では、持ち前のチームワークを発揮し、最後まで諦めずに臨むことができたと考えています。その陰には4年生のリーダーシップがあったことでしょう。本当にお疲れさまでした。卒業後も部内で培ったリーダーシップと精神力を存分に発揮してくれることを期待しています。来年度は新体制のもとでの活動となります。各自で目標を設定しそこに向かって自ら練習を進めるのが本バドミントン部の伝統です。先輩から受け継いだこの伝統を大切にし、また早稲田らしいチームワークで更なる飛躍を目指して活動を続けて欲しいと思います。

監督
川合　光

全日本学生バドミントン大学対抗戦では、男子は一回戦敗退、女子はベスト 16、全日本学生バドミントン選手権大会(個人戦) では入賞者なしと、それぞれの大会で目標としていた日本一にたどり着けなかったですが、東日本学生選手権大会にて女子団体で6年ぶりの3位入賞、個人戦でも女子ダブルスで岡本・尾崎ペアが3位入賞という嬉しい結果もありました。4 年生は少人数の中で部の運営・練習に真摯に取り組んでくれたことに心からの感謝と賛辞を送りたいです。来年度は一人一人が意識高く、男子の関東リーグ戦 1 部復帰、及び個人戦含めて男女日本一を目指してもらいたいです。富田、石橋、岩崎、本当にお疲れ様でした。

主将
富田剣斗
創造理工学部
茗溪学園

満ち溢れた「出会い」と「学び」

この4年間の部活動を通じて、本当に多くの素敵な出会いを経験することができました。1部昇格を目指して仲間と切磋琢磨した挑戦との出会い、努力を重ねても結果が伴わず悔しさを味わった挫折との出会い、そしてバドミントンという競技を通じて出会ったかけがえのない仲間やライバルたち。

ここでは語り尽くせないほどの多くの出会いが、私に数え切れない学びを与えてくれました。この4年間で得た経験と学びは、生涯の宝物です。これから先の人生でも、この日々を支えに、自分らしく挑戦を続けていきたいと思います。

最後に、この4年間をともに歩んでくれたすべての方々に、心から感謝申し上げます。

主務
中島勇介
政治経済学部
早稲田実業

監督やコーチ、OB・OGの皆様、競技スポーツセンターの皆様、部員等、多くの支えがあり、今年度の主務を務めることができました。今年度からはより一層の責任感が芽生え、監督陣や部員と細かく連携しながら仕事に向き合いました。たくさんの方々のご協力により、去年に引き続き今年度も主務を務め切ることができ、大変感謝しております。この経験を通して、広い視野や、柔軟な対応力が培われ、人としても成長できたと感じております。来年度も、次世代に引き継ぎながら、最後まで役割を全うしたいと存じます。改めまして、1年間を通し、たくさんのご支援、ありがとうございました。

本年度試合戦績

成績（早稲田勝利：○、引き分け△、敗戦●）

◇**2025（令和7）年度関東大学バドミントン春季リーグ戦**　（4月26日～5月5日）

男子２部優勝
▷東海大学（○５－０）
▷東京経済大学（○４－１）
▷東京情報大学（○３－２）
▷神奈川大学（○４－１）
▷立教大学（○５－０）

女子１部６位
▷筑波大学（●０－５）
▷明治大学（●０－５）
▷法政大学（●０－５）
▷日本体育大学（●２－３）
▷日本大学（○３－２）

◇**関東大学バドミントン春季リーグ入れ替え戦**　（5月25日）

男子２部残留
▷中央大学（●０－３）

女子１部残留
▷立教大学（○３－０）

◇**関東学生バドミントン選手権大会**　（6月18日～7月4日）
▷今越健太（シングルスベスト16）
▷岡本尾崎（ダブルス３位）
▷岡本田中（ミックスベスト8）

◇**東日本学生バドミントン選手権大会**　（8月23日～31日）
▷太田匡亮（シングルスベスト16）
▷岡本尾崎（ダブルス３位）
▷石橋原口（ダブルスベスト8）
▷石橋馬屋原（ミックスベスト8）
▷岡本田中（ミックスベスト8）
▷原口田中（ミックスベスト16）

◇**2025（令和7）年度関東大学バドミントン秋季リーグ戦**　（9月13日～21日）

男子２部優勝
▷立教大学（○４－１）
▷高崎健康福祉大学（○３－２）
▷東京経済大学（○４－１）
▷神奈川大学（○５－０）
▷東京情報大学（○３－１　打切り）

女子１部４位
▷日本体育大学（●２－３）
▷筑波大学（●１－４）
▷法政大学（○３－２）
▷明治大学（●２－３）
▷日本大学（○５－０）

◇**2025（令和7）年度関東大学バドミントン秋季入れ替え戦**　（9月28日）

男子２部残留
▷中央大学（●１－３）

◇**第76回全日本学生バドミントン選手権大会**　（10月10日～16日）
▷岡本田中（ミックスベスト8）
▷今越健太（シングルスベスト16）

◇**第76回全日本学生バドミントン大学対抗戦**　（11月6日～9日）

男子団体
▷龍谷大学（●１－３）

女子団体
▷東京情報大学（○３－２）
▷法政大学（●１－３）

◇**第16回東京都学生バドミントン選手権大会**　（11月20日～21日）
▷今越健太（男子シングルス優勝）
▷太田匡亮（男子シングルス準優勝）
▷藤吉珠李（男子シングルスベスト8）
▷大西悠斗（男子シングルスベスト16）
▷中島勇介（男子シングルスベスト16）
▷黒川璃子（女子シングルス優勝）
▷土屋和心美（女子シングルスベスト8）
▷今越藤吉（男子ダブルスベスト8）
▷大西中島（男子ダブルスベスト8）
▷石橋岩崎（女子ダブルス準優勝）